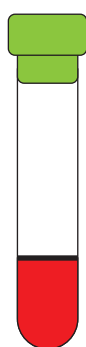




内分泌Ⅱ

No	検査項目	材料 検体量	検査法	参考基準値		単位	所要 日数	備考
				イヌ	ネコ			
61	テストステロン	血清 0.3mL	ECLIA			ng/mL	2~4	冷蔵
62	エストラジオール (E2)	血清 0.5mL	CLIA			pg/mL	2~4	冷蔵
63	プロゲステロン	血清 0.5mL	CLIA			ng/mL	2~4	冷蔵
64	インスリン(犬のみ) (IRI)	血清 0.5mL	ECLIA			μU/mL	2~4	冷蔵 溶血不可
65	エリスロポエチン (EPO)	血清 0.7mL	CLEIA			mIU/mL	4~5	冷蔵
66	心房性ナトリウム利尿ペプチド (ANP)	アプロチニン血漿 0.4mL	CLEIA	< 30		pg/mL	4~5	専用容器 冷凍

ANP の検体取り扱いについて



専用容器 (EDTA-2N+ アプロチニン含有採血管) に、1~2 mL の血液を分注後、**よく混和し速やかに遠心**してください。



遠心後、上清 (血漿0.4 mL) を指定のチューブに採取し、**冷凍保存**。

- * 血液中の ANP は血中の酵素によって分解されやすいため、保存安定性を保つために、専用採血管を用いて採血し、速やかに上清を分離し、凍結してください。
- * 家庭用冷凍庫では、数日間は安定していますが、採血後は出来るだけ早い検査が望ましいです。
- * 検体に溶血が認められた場合は低値となる可能性があります。
- * 凍結保存検体の凍結融解の繰り返しは避けてください。



ビタミン・薬物検査

No	検査項目	材料 検体量	検査法	参考基準値		単位	所要 日数	備考
				イヌ	ネコ			
67	葉酸	血清 0.5mL	CLEIA			ng/mL	2~4	冷蔵
68	ビタミンB12 (シアノコバラミン)	血清 0.5mL	CLEIA			pg/mL	2~4	冷蔵
69	フェノバルビタール	血清 0.2mL	LA	15~45	15~30	μg/mL		冷蔵
70	ゾニサミド	血清 0.2mL	LA	10~40	10~40	μg/mL		冷蔵
71	シクロスポリン	EDTA全血 0.7mL	ECLIA			ng/mL	4~6	冷凍

結石分析

No	検査項目	材料 検体量	検査法	参考基準値		単位	所要 日数	備考
				イヌ	ネコ			
72	結石分析	結石 10mg以上	IR法				7~9	室温

結石分析<分析可能成分>

1 シュウ酸カルシウム	14 コレステロール	27 脂肪酸カルシウム
2 リン酸カルシウム	15 トリオlein	28 テオキシコール酸
3 第二リン酸カルシウム	16 ビリルビンカルシウム	29 ウルソデオキシコール酸
4 炭酸カルシウム	17 可溶性デンプン	30 タンニン
5 リン酸マグネシウムアンモニウム	18 タンパク質	31 クエン酸カルシウム
6 塩基性炭酸マグネシウム	19 尿素	32 リン酸マグネシウム
7 二酸化ケイ素	20 多糖類	33 硫酸バリウム
8 尿酸	21 中性脂肪	34 1-メチル尿酸
9 尿酸ナトリウム	22 ケイ酸	35 トスフロキサシン
10 尿酸水素アンモニウム	23 ジヒドロキシアデニン	36 エノキサシン
11 キサンチン	24 酸性尿酸アンモニウム	37 硫酸カルシウム
12 ステアリン酸カルシウム	25 酸性尿酸ナトリウム	38 黒色色素
13 Lシスチン	26 リン酸水素カルシウム	

上記以外の成分が検出された場合は、「解析不能成分」としてご報告致します。

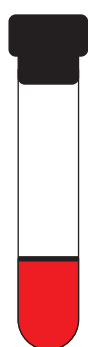


凝固検査

No	検査項目	材料 検体量	検査法	単位	参考基準値		所要 日数	備考	
					イヌ	ネコ			
73	プロトロンビン時間 (PT)	クエン酸 血漿 0.2mL	同時 測定 0.5mL	凝固法	秒	6.0~8.0	7.0~11.5	1~3	専用容器 冷凍
74	活性化部分トロンボプラスチン 時間 (APTT)	クエン酸 血漿 0.2mL		凝固法	秒	12~18	10~15	1~3	専用容器 冷凍
75	フィブリノゲン定量 (Fib)	クエン酸 血漿 0.2mL		凝固法	mg/dL	200~400	50~300	1~3	専用容器 冷凍
76	アンチトロンビン活性	クエン酸 血漿 0.2mL		合成基質法	%	92~116	101~129	1~3	専用容器 冷凍
77	フィブリン・フィブリノゲン 分解産物定量 (FDP)	クエン酸血漿 0.5mL		LIA	μg/mL	~5.0	~5.0	1~3	専用容器 冷凍

※項目No.73~76の同時測定の場合、検体量は0.5mL、FDPの検体量は単独で0.5mL必要です。

凝固検査の検体取り扱いについて



専用容器（クエン酸ナトリウム入り採血管）に、規定量（1.8mL）の血液を分注後、よく混和し遠心してください。



遠心後、上清（血漿）をプレインチューブなどの容器に採取し、**冷凍保存**してください。



微生物検査

No	検査項目	材料		参考基準値		所要日数	備考
				イヌ	ネコ		
78	グラム染色					2~4	冷蔵
79	好気性培養	尿・便・血液・皮膚 被毛・その他				4~7	冷蔵
80	嫌気性培養					4~7	冷蔵
81	真菌培養			皮膚・被毛・その他			
82	大腸菌血清型別 ※1	検査法	凝集法			4~7	
83	薬剤感受性検査 ※2	1菌種 2菌種 3菌種以上	KB法			5~8	冷蔵

* 培養同定検査は、菌の発育状態により日数が加算されます。

※1 下痢原性大腸菌の血清型別です。


※2 薬剤感受性は培養同定後の検査となります。

動物薬


エンロフロキサシン (バイトリル)	ERFX	キノロン系
オルビフロキサシン (ビクタス)	OBFX	キノロン系
セフォキシムナトリウム (コンベニア)	CFV	セフェム系
セフポドキシムプロキセチル (シンプリセフ)	CPDX	セフェム系

○病院セットとしての登録も可能ですのでご利用ください。

○真菌は感受性検査を実施いたしません。



動物専用の 薬剤感受性検査 のご案内



弊社では動物用抗菌薬の感受性試験を実施しております。
細菌性感染症の診断、治療にぜひお役立てください。

動物専用薬			
セフォキシムナトリウム (コンベニア)	ゾエティス	CFV	セフェム系
セフポドキシムプロキセチル (シンプリセフ)	ゾエティス	CPDX	セフェム系
エンロフロキサシン (バイトリル)	バイエル薬品	ERFX	キノロン系
オルビフロキサシン (ビクタス)	DSファーマニマルヘルス	OBFX	キノロン系

* 薬剤感受性は細菌培養同定後の検査となります。